

# 地域医療連携室だより

2007年8月



## こども医療センターの救急医療体制

副院長 猪谷 泰史

こども医療センターは県下唯一の小児専門病院として、多くの小児救急患者さんを24時間受け入れています。

入院や手術を要する二次救急患者さんはもちろんですが、特に集中治療を必要とする三次救急患者さんを受け入れるため、小児を収容するP I C U 8床とハイケアユニット 16床・新生児を収容するN I C U 15床・母体胎児を収容するM F I C U 6床を有しています。

小児救急や集中治療を担う救急診療科・総合診療科・集中治療科をはじめ、循環器科や神経内科などの小児内科系各診療科だけではなく、外科や脳神経外科などの小児外科系各診療科も、交通事故や重傷熱傷を除いて救急患者に対応しております。周産期救急も、神奈川県周産期救急システム基幹病院として産婦人科・新生児科が母体・胎児・新生児の救急疾患に対応しています。ただし、救急指定病院ではなく、全例紹介受診制をとっていますので、新患の患者さんが直接来院される一次救急はお断りしています。

医療機関から救急患者さんのご紹介は、紹介状を持たせるだけでなく、お手数ですがお電話でのご連絡を必ずお願いします。夜間のご依頼は、小児科は内科当直に、外科系は外科系当直にてお受けします。また産科救急は産婦人科当直、新生児救急はN I C U当直がお受けします。ホットラインを持たないため、夜間などは当直医へお繋ぎするのが多少遅れることもありますが、ご容赦ください。





## こども医療センターにおける周産期救急

産婦人科 山中 美智子

センターの産科は、神奈川県周産期救急システムの基幹病院の一つとして、年間60～90件の母体搬送を受け入れています。搬送理由のほとんどは「小さな赤ちゃんが生まれそう」という前期破水、切迫早産、妊娠高血圧症候群などです。

今、県内では分娩扱い施設の減少と共にNICU病床の不足が大きな問題となっていて、県内で発生する母体搬送の一割近くが県外に搬送されるという状況になっています。

センターでは、出生前に胎児異常を指摘されて紹介されてくる例が増えているため、そのようなお子さん達でNICUがいっぱいになることが多くなっています。NICU病床の空きがないと母体搬送受入が難しいことも多く、残念ながら搬送依頼の半分くらいしか受け入れられていない状況ですが、新生児科と連携を密にして一例でも多く受けられるように最大限の努力をしています。



新生児病棟 43床 (NICU15床)



胎児カンファレンス (毎週木曜日)



## 周産期医療部門におけるチーム医療

新生児病棟看護科長 山本 直子

こども医療センター周産期医療の特徴は、低出生体重児および先天異常を合併する新生児の入院が多いことです。ハイリスク妊婦、褥婦には外来フォロー中から入院、退院まで母子の両方にきめ細やかなケアと援助を必要とし、産婦人科・新生児科の医師、母性病棟・新生児病棟の看護師、保健福祉相談室のスタッフなど多職種の医療関係者が連携して医療やケアにあたっています。チーム医療を円滑に行うために、カンファレンスで情報交換を行っていますが、重症先天異常などハイリスク新生児は、毎週胎児カンファレンスで、関連する診療科の医師やコ・メディカルが参加し、胎児期から診断、治療方針、分娩方法について検討しています。



## 小児救急医療（センターが担っている役割）

救急診療科 梅原 実

神奈川県では小児救急医療体制整備のため役割分担と連携強化をかね、こども医療センターにも平成14年1月から救急診療科が発足し三次救急医療対応（広域）を担う事となり、はや5年余が経過しました。

初期・二次医療機関への後方支援強化を重点課題とし、地域の基幹病院への荷重軽減のためにも“最後の砦”構想を中心に位置づけ、重症児入院可能ベッドの確保に努めています。

原則として他医療機関や救急隊からのご依頼は断らない事をモットーにして、重症小児患者に質の高い医療を提供することを今後も努力していくつもりです。しかしながら、未だ未整備の部分も多く、ご依頼に十分対応できないこともありご迷惑をお掛けいたしまして申し訳ありません。

今後は、小児救急医療ネットワークを確立し、双方向の地域連携協力が円滑に行われ、限られた小児医療資源を、より活用できるように努めて行きたいと思っております。



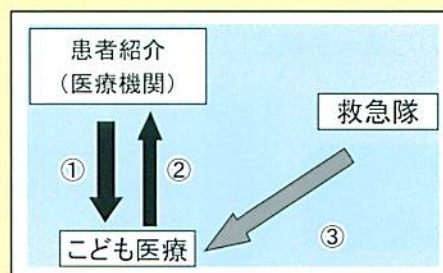
### 【救急患者受診の流れ】

045-711-2351（代表）におかけになった後、

平日午前9時～午後5時：救急外来担当医 PHS “5445” へ

時間外（当直体制）：内科系当直医あるいは外科系当直医が対応

1. 医療機関あるいは救急隊からの連絡（電話）は、直接救急外来担当医へ繋がります。
2. 救急外来担当医が、依頼内容をお聞きした上で応需いたします。
3. 専門診療科へのご依頼は、各専門診療科へお願いします。



救急外来で機器の点検



こども医療の救急車で他の医療機関から搬送

# 神奈川県立こども医療センター・研修のご案内

## 医療安全セミナー

- ☆ 日 時：平成 19 年 9 月 11 日（火）18：00～
- ☆ 場 所：当センター 本館2階講堂
- ☆ テーマ：医療安全行政の最近の動向  
—第三者医療事故調査機関と無過失補償—
- ☆ 講 師：佐原 康之先生  
(厚生労働省医政局総務課医療安全室長)
- ☆ 事前申し込みは不要（当日会場受付）
- ☆ お問い合わせ：地域医療連携室 担当 千田

## 母性育児学習会

- ☆ 日 時：平成 19 年 11 月予定（詳細は未定）
- ☆ 場 所：当センター 本館2階講堂
- ☆ テーマ：未定
- ☆ お問い合わせ：地域医療連携室 担当 千田
- ※詳細が決定次第、当センターホームページでご案内させていただきます。

## 心臓血管外科学習会

- ☆ 日 時：平成 19 年 11 月 16 日（金）18：00～
- ☆ 場 所：当センター 本館2階講堂
- ☆ テーマ：輸血の話（仮題）
- ☆ 講 師：松崎 浩史先生（日本赤十字社）
- ☆ お問い合わせ：地域医療連携室 担当 千田

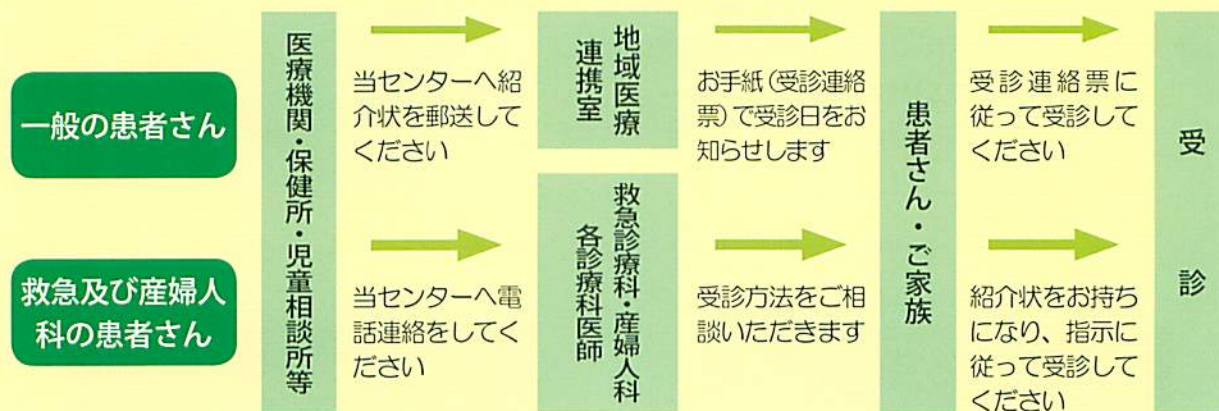
## 看護集談会

- ☆ 日 時：平成 19 年 11 月 17 日（土）  
13：30～16：30
- ☆ 場 所：当センター 本館2階講堂
- ☆ テーマ：研究の質の向上  
—研究を実践の質の向上に生かしていこう—
- ☆ お問い合わせ：看護教育科

## 【紹介予約受診システム】

当センターは、医療機関や保健所等からご紹介いただいた患者さんが、初診の予約をお取りになり受診していただく「紹介予約制」を取らせていただいております。

予約の方法・手続きにつきましては下記をご覧ください。



編集・発行

神奈川県立こども医療センター 地域医療連携室

〒232-8555 横浜市内南区六ツ川 2-138-4 TEL 045(711)2351 FAX 045(710)1933

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/byouin/kodomo/>